

---

# やさしい雨

青星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ややしこ雨

### 【著者】

Z8575X

### 【作者名】

青星

### 【あらすじ】

今日は楽しい幼稚園の遠足です。でも、あいにくの空模様。雨男のバスの運転手の田中さんは自分のせいだと悲しくなってしまします。ところが……。

黄色に雨がっぱにみをつんだ園児たちが、ぞろぞろバスに乗りこんできます。

「天気よほづは、はれマークだったのにね」

だれかがいつのひどいとが、うんてん手の田中さんのむねをつきました。

バスのうんてん手になつて、もつなん年にもなつますが、田中さんはうんてんする口は、はれたことがあります。きょうだつて、せいかくのバスえんそくだとつて、朝から雨ふりです。

おまけにゆき先は、ゆひやん地・・・。

田中さんは、なんだかもつしきなくて、まうしおもわす、まづかにかぶりました。

(きっと、なん日も前から楽しみにしていたんだらうなあゆづく、おおこわきで作ったてるてるぼりゅも、じつや、ひ、それぬがなかつたようです。

そういうえば、樂しい」とがある口はいつも雨ふりでした。

えんそく、うんじう会、花火大会に、誕生日・・・。

そういうあるうちに、バスはもくでき地につけました。

「氣をつけたね。樂しんでおいで」

田中さんは、せここっぱいのえがおで、おつてこくえんじたちに声をかけました。

(おべんとうはどこでたべるんだらう。びしょびしょのベンチせつめたいだらうなあ)

黄色い雨がっぱがほつまつへぢらばつてかくのを見ながら、田中さんはふかいためいきをつきました。

やがて、おひるもすき、なんそろかえる時間がやつてきました。

しかし、集合のじかんをこくらすきても、だれ一人、かえつてきま

せん。

「おかしいなあ……」

田中さんがバスをおひでまつてこると、来ました、来ました！  
どのも、えがおいつぱこです。

「おじさん！ すいべおもじりかつたよー。」

「ばくなんて、ジョン・ロースターに一回やったんだよー。」

田中さんは、あいつこいつま、えんじたがりつかこまねてしま  
ました。

「あのね、畠がふつていたから、おきやくさんがだあれもいなかつ  
たの。こっぽい、こるんなのつもものれで、とつても楽しかった  
よ

田中さんのじいじのなかにむじわじわじわしがうつってきました。  
「あ、みんな、かぜをひくよ。あびつかれた子は、ぐっすりお  
やすみ。おじさんが、今から、あんぜんひへおへつてあげる  
からね

畠は、あいかわらず、ふりつづこつこめす。

でも、はじめて、その畠がやめこつて畠、田中さんは連れました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8575x/>

---

やさしい雨

2011年10月23日19時16分発行